



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月10日

上場会社名 **santec株式会社**（登記社名：サンテック株式会社） 上場取引所 東  
 コード番号 6777 URL <https://www.santec.com/jp>  
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）鄭 元鎬  
 問合せ先責任者 （役職名）常務執行役員業務部長 （氏名）山下 英哲 TEL 0568-79-3535  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨）

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	10,589	81.9	2,646	162.3	2,798	143.5	2,057	134.4
2022年3月期第3四半期	5,820	1.2	1,009	△15.9	1,149	△11.5	877	△4.4

（注）包括利益 2023年3月期第3四半期 2,080百万円（118.4%） 2022年3月期第3四半期 952百万円（△18.2%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	174.92	—
2022年3月期第3四半期	74.61	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	18,811	13,306	70.7	1,131.50
2022年3月期	16,353	11,872	72.6	1,009.55

（参考）自己資本 2023年3月期第3四半期 13,306百万円 2022年3月期 11,872百万円

（注）2023年3月期第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2022年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
2023年3月期	—	30.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	30.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,200	71.0	3,700	125.3	4,000	105.3	3,000	81.1	255.09

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー 除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 8 ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	11,961,100株	2022年3月期	11,961,100株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	200,601株	2022年3月期	200,576株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	11,760,505株	2022年3月期3Q	11,760,524株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の御利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は2023年2月14日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

	(単位：百万円)			
	前第3四半期	当第3四半期	前年同期比増減	
売上高	5,820	10,589	4,768	81.9%
営業利益	1,009	2,646	1,637	162.3%
経常利益	1,149	2,798	1,649	143.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	877	2,057	1,179	134.4%

当第3四半期連結累計期間（2022年4月1日から2022年12月31日まで、以下、「当第3四半期」）の世界経済は、新型コロナウイルス感染症に対する防疫と経済活動の両立が進みました。一方で、インフレ加速や金利の上昇、部材の供給不足に加え、中国における新型コロナウイルスの感染再拡大、ロシア・ウクライナ情勢の長期化が経済に影響を及ぼし、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

光通信関連市場におきましては、各種クラウドサービスの利用拡大を背景として、通信トラフィックが世界的に増加しております。それに伴い、ネットワークインフラ、データセンタ向けの投資が順調に進みました。

当社の産業用光測定器の主な販売先である半導体市場におきましては、半導体用シリコンウエハの製造における設備投資の需要は堅調に推移しております。

眼科医療機器市場におきましては、世界的な高齢化による白内障手術の需要の高まりにより、世界各国の医療機関における眼軸長測定装置の導入が増加しております。

このような状況のなか、当社は2023年3月期の基本方針として「市場重視の製品開発を推進」を掲げ、事業活動に取り組んでまいりました。

売上高は、医療用及び産業用の光測定器の販売が好調に推移したこと、2021年10月に買収した2社の売上が寄与したことにより、10,589百万円（前年同期比81.9%増）となりました。営業利益は2,646百万円（前年同期比162.3%増）、経常利益は2,798百万円（前年同期比143.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,057百万円（前年同期比134.4%増）となりました。

これらの結果、当第3四半期における売上高、利益ともに過去最高となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

## ① 光部品関連事業

	(単位：百万円)			
	前第3四半期	当第3四半期	前年同期比増減	
売上高	2,175	2,787	612	28.2%
営業利益	302	590	287	94.9%

当事業では、主に光伝送機器メーカーに対して光モニタ、光アッテネータ、光フィルタ等の光通信用部品を提供しております。また、LCOS技術を利用した空間光変調器を光計測、光加工、光情報処理分野に提供しております。国立研究開発法人情報通信研究機構の「Beyond 5G研究開発促進事業」委託研究にも取り組んでおります。

当事業を取り巻く光通信関連市場におきましては、通信トラフィックの増加に伴い、世界各国で5G通信網やデータセンタの設備投資の増強が進められています。当第3四半期におきましては、米国における光モニタ、光フィルタの販売が増加し、売上高は、2,787百万円となり前第3四半期の2,175百万円に比べ28.2%増加しました。セグメント利益は利益率の高い製品を多く販売したことにより、590百万円となり前第3四半期のセグメント利益302百万円と比べ94.9%増益となりました。

## ② 光測定器関連事業

	(単位：百万円)			
	前第3四半期	当第3四半期	前年同期比増減	
売上高	3,543	7,595	4,051	114.3%
営業利益	737	2,058	1,321	179.2%

当事業には(1)光通信用光測定器事業、(2)産業用光測定器事業、(3)医療用光測定器事業が含まれております。

当第3四半期の売上高は7,595百万円と、前第3四半期の3,543百万円から114.3%増加しました。セグメント利益は2,058百万円となり、前第3四半期のセグメント利益737百万円に比べて179.2%増益となりました。

光通信用光測定器事業につきましては、2021年10月に買収した2社の業績を取り込んだことが売上高の増加に大きく寄与しました。また中国、日本における波長可変光源並びに波長可変光源を用いたシステムの販売も堅調に推移いたしました。

産業用光測定器事業におきましても、日本、中国における半導体用シリコンウエハの製造にかかる設備投資の需要が高く、販売が好調に推移いたしました。医療用光測定器事業につきましては、米国を中心に光学式眼内寸法測定装置(製品名:ARGOS®)の販売が伸びました。2019年に戦略的アライアンスを締結以来、ARGOS®の販売代理店であるAlcon社と緊密な関係を構築しており、同社と連携したマーケティング及び販売戦略が奏功しております。

今後の見通しにつきましては、以下のとおりです。

光部品関連事業につきましては、光通信関連市場の設備投資が堅調に推移するものの、部材の需給バランスの不均衡により、サプライチェーン内の混乱が続く可能性があります。

光通信用光測定器事業につきましては、ネットワークインフラ投資の需要が堅調に推移し、国内外の光伝送機器メーカー及び大学、研究機関からの引き合いも緩やかに増えるものと予想しています。

産業用光測定器事業につきましては、半導体用シリコンウエハの製造にかかる設備投資の需要が堅調に推移するものと想定しております。

医療用光測定器事業につきましても、米国を中心とする需要が好調に推移するものと見込んでおります。

当第3四半期までの業績が好調に推移した一方で、第4四半期以降は、為替変動、世界的なインフレに加え、地政学リスクに起因する景気減速懸念があり、先行きを慎重に見る必要があります。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産

当第3四半期末の総資産は、前連結会計年度末(16,353百万円)に比べて2,458百万円増加し、18,811百万円となりました。これは、現金及び預金、棚卸資産が増加したことによるものであります。

## ② 負債

当第3四半期末の負債は、前連結会計年度末(4,480百万円)に比べて1,024百万円増加し、5,504百万円となりました。これは、電子記録債務、賞与引当金が増加したことによるものであります。

## ③ 純資産

当第3四半期末の純資産は、前連結会計年度末(11,872百万円)に比べて1,434百万円増加し、13,306百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年11月11日に開示したのから修正はありません。

なお、本資料は発表日現在において入手可能な情報に基づいた見通しであり、実際の金額は今後の様々な要因によって変動する場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,593,169	6,006,383
受取手形、売掛金及び契約資産	2,268,470	2,295,125
電子記録債権	36,210	19,995
有価証券	122,084	—
商品及び製品	406,824	734,370
仕掛品	401,328	537,357
原材料	800,839	1,226,484
その他	213,893	385,913
貸倒引当金	△196	△9,454
流動資産合計	8,842,623	11,196,175
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,186,288	1,152,872
機械装置及び運搬具（純額）	56,790	48,698
土地	1,592,577	1,592,577
リース資産（純額）	36,313	34,265
建設仮勘定	27,932	20,112
その他（純額）	558,325	623,205
有形固定資産合計	3,458,228	3,471,732
無形固定資産		
のれん	760,089	707,504
その他	631,220	577,133
無形固定資産合計	1,391,309	1,284,638
投資その他の資産		
投資有価証券	2,210,654	2,500,240
長期貸付金	149,471	156,890
その他	307,154	202,056
貸倒引当金	△6,432	—
投資その他の資産合計	2,660,848	2,859,186
固定資産合計	7,510,386	7,615,557
資産合計	16,353,010	18,811,733

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	399,487	558,955
電子記録債務	527,214	982,628
1年内返済予定の長期借入金	126,000	126,000
未払法人税等	396,606	401,799
賞与引当金	83,440	345,032
役員賞与引当金	98,468	134,302
その他	833,446	1,115,073
流動負債合計	2,464,664	3,663,792
固定負債		
長期借入金	1,121,500	1,027,000
退職給付に係る負債	600,860	615,939
資産除去債務	13,630	13,864
その他	279,475	184,144
固定負債合計	2,015,465	1,840,948
負債合計	4,480,130	5,504,740
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,978,566	4,978,566
資本剰余金	1,209,465	1,209,465
利益剰余金	5,426,543	6,836,840
自己株式	△97,606	△97,649
株主資本合計	11,516,969	12,927,223
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	85,375	62,038
為替換算調整勘定	270,534	317,730
その他の包括利益累計額合計	355,910	379,769
純資産合計	11,872,879	13,306,992
負債純資産合計	16,353,010	18,811,733

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	5,820,616	10,589,095
売上原価	2,969,218	4,879,040
売上総利益	2,851,397	5,710,054
販売費及び一般管理費	1,842,347	3,063,166
営業利益	1,009,049	2,646,888
営業外収益		
受取利息	74,637	96,111
受取配当金	7,265	7,335
受取賃貸料	31,968	35,928
為替差益	27,484	43,308
複合金融商品評価益	8,197	—
その他	18,581	28,771
営業外収益合計	168,135	211,454
営業外費用		
支払利息	993	1,769
複合金融商品評価損	—	28,866
賃貸不動産関係費用	25,417	27,565
その他	1,640	1,609
営業外費用合計	28,051	59,810
経常利益	1,149,133	2,798,531
特別損失		
固定資産除却損	1,794	694
投資有価証券売却損	1,430	—
特別損失合計	3,224	694
税金等調整前四半期純利益	1,145,909	2,797,837
法人税等	268,415	740,712
四半期純利益	877,493	2,057,124
親会社株主に帰属する四半期純利益	877,493	2,057,124



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	877,493	2,057,124
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42,357	△23,336
為替換算調整勘定	32,678	46,591
その他の包括利益合計	75,035	23,254
四半期包括利益	952,529	2,080,379
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	952,529	2,080,379
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、これによると著しく合理性を欠く結果となる場合には「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する適用指針」第15項（法定実効税率を使用する方法）に準じて計算しております。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	光部品 関連事業	光測定器 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,175,367	3,543,706	5,719,073	101,542	5,820,616
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,175,367	3,543,706	5,719,073	101,542	5,820,616
セグメント利益又は損失(△)	302,801	737,446	1,040,248	△31,198	1,009,049

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、システム・ソリューション事業であります。

2 セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	光部品 関連事業	光測定器 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,787,856	7,595,081	10,382,938	206,156	10,589,095
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,787,856	7,595,081	10,382,938	206,156	10,589,095
セグメント利益又は損失(△)	590,101	2,058,884	2,648,985	△2,097	2,646,888

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、システム・ソリューション事業であります。

2 セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

光測定器関連事業において、前第3四半期連結会計期間に行われたJGR Optics Inc. (現 Santec Canada Corporation) との企業結合について、取得原価の配分が完了していなかったため、のれんの金額は暫定的に算定された金額でありましたが、当第3四半期連結会計期間に取得原価の配分が完了し、暫定的な会計処理が確定したため、のれんの金額を修正しております。